

【がん種】 [大腸癌](#)
 【レジメン名】 FOLFIRI
 【登録番号】 160506
 【1コースの期間】 2週間
 【総コース数】 進行・再発:PDまで
 【催吐性リスク】 中等度:カンプト、軽度:5-FU
 【抗がん剤の組織障害性】 イリタント(炎症性):カンプト, 5-FU
 【投与量に制限のある薬剤】 なし
 【主な有害事象】 編集中

【必要な検査】 編集中
 【根拠論文】 J Clin Oncol 22:229-237, 2004. J Clin Oncol 23:4866-4875, 2005. J Clin Oncol 25:4779-4786, 2007. N Engl J Med 360:1408-1417, 2009. J Clin Oncol 28:4706-4713, 2010. Lancet Oncol 11:853-860, 2010. Lancet Oncol 16:499-508, 2015.

【点滴の時間】 [day1~]49時間35分

【費用】 編集中

【その他】 原則、CVポートを増設して治療を行う。カンプト:UGT1A1に*6(*6/*6), *28(*28/*28), *6(-/*6)+*28(-/*28)のいずれかの多型がある場合には骨髄抑制が強く出現する。
 インフューザーポンプの使用可否:CVポートを造設している、外来で治療する場合(入院導入後に外来へ移行する場合には初回入院時も使用可能、外来に移行せずに入院で治療を継続する場合には使用不可)。

インフューザーポンプ使用時

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日				
					1	2	3	...	14
1	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ&フラッシュ	○				
2	生理食塩液 100mL	1 B	側管	30分	○				
	アロキシン静注 0.75mg	1 V		フィルター使用					
	デカドロン注射液 1.65mg/0.5mL	2 A							
	デカドロン注射液 6.6mg/2mL	1 V							
3	5%ブドウ糖液 250mL	1 B	側管	2時間	○				
	レボホリナート点滴静注「ヤクルト」	200 mg/m2		フィルター使用					
	4のカンプトと同時に開始								
4	5%ブドウ糖液 250mL	1 B	側管	90分	○				
	カンプト点滴静注	150 mg/m2		フィルター使用					
	3のレボホリナートと同時に開始								
5	生理食塩液 50mL	1 B	側管	全開	○				
	5-FU注	400 mg/m2		フィルター使用					
6	5-FU注	2400 mg/m2	側管	46時間	○				
				インフューザーポンプ使用					
7	デカドロン錠 4mg	1 錠/回	内服	1日2回朝食後		○	○		

インフューザーポンプ未使用時

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日				
					1	2	3	...	14
1	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ&フラッシュ	○				
2	生理食塩液 100mL	1 B	側管	30分	○				
	アロキシン静注 0.75mg	1 V		フィルター使用					
	デカドロン注射液 1.65mg/0.5mL	2 A							
	デカドロン注射液 6.6mg/2mL	1 V							
3	5%ブドウ糖液 250mL	1 B	側管	2時間	○				
	レボホリナート点滴静注「ヤクルト」	200 mg/m2		フィルター使用					
	4のカンプトと同時に開始								
4	5%ブドウ糖液 250mL	1 B	側管	90分	○				
	カンプト点滴静注	150 mg/m2		フィルター使用					
	3のレボホリナートと同時に開始								
5	生理食塩液 50mL	1 B	側管	全開	○				
	5-FU注	400 mg/m2		フィルター使用					
6	生理食塩液 500mL	1 B	側管	46時間	○				
	5-FU注	2400 mg/m2		フィルター使用					
7	生理食塩液 100mL	1 B	メイン	キープ&フラッシュ		○			
8	デカドロン錠 4mg	1 錠/回	内服	1日2回朝食後		○	○		